

第4回 沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム  
～大磯暮らしの作り方～

日時 平成29年2月16日(木)  
18時30分から20時30分まで  
会場 大手町会館

沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム vol.4  
2017.2.16(木) 18:30～20:30  
@



大磯暮らしの作り方

なんでも大磯  
こんなに賑わってるの？

**入場無料**

**講師** 原大祐 NPO法人西海まおそ会代表理事、GoLab 代表取締役、  
園内イノベーションシニアティブ株式会社取締役ほか  
1978年生まれ、青山学院大学経済学経済学科卒。コンサル会社勤務後、2008年  
GoLab 設立、2008年西海まおそ会を設立。大磯在住。大磯で別荘生活のように暮ら  
すがテーマ。そのテーマを実現させる為に主に1次産業を中心に再生事業を行っている。  
漁協運営の食堂「めしや大磯津」、神奈川県下最大の朝市の「大磯市」、コミュニティ農  
園「大磯農園」、ソーシャル雑居ビル「OISO1688」などをプロデュースを行っている。

お申込・お問い合わせ  
沼津市役所 めまづの宝推進課 Tel : 055-934-4886 E-mail : takara@city.numazu.lg.jp



## <当日の様子>

第4回沼津市リノベーションまちづくりシンポジウムは、NPO法人西湘をあそぶ会代表理事、Co. Lab 代表取締役、関内イノベーションイニシアティブ(株)取締役を務め、海と山に挟まれ由緒ある保養地として有名な神奈川県大磯町で「大磯市（いち）」開催をはじめ、数々の活動をしておられる 原 大祐 氏をお招きし、「大磯暮らしの作り方」と題して講演いただきました。



原氏からは、大磯町のまちの概要説明の後、「大磯市」の成り立ちから、一過性のイベントにとどめず、人々をつなぐハブ機能を持たせまちづくり拠点とするための仕掛け方、更には遊休化していた元歯科医院ビルをリノベーションした「OISO1668」、荒廃した農地を活用した「大磯農園」の事例などについて紹介いただきました。



質疑応答では、会場から多くの質問が寄せられ、原氏からは「リノベーションは初期投資をほとんどかけずにやっており、古材等の情報をもらい活用する等やり方はいろいろとある。」「広告宣伝費にはお金は使わず、メディアに取り上げられるような仕掛けを行っている。」「最初は同じ活動をする仲間の姿は見ていなかったが、やっているうちに現れてきたので、沼津にも見えていないだけで仲間はきっといる。」「若いママ達よりも60代の女性の方が起業の実現性は高いかもしれない。」などといった、これまでの自身の様々な経験に基づいた重みのあるアドバイスをいただきました。

